



よしだつうしん

吉田通信

第8号
【2015年5月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆人生初のダブルヘッダー…◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第8号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、前回の吉田通信で「当社の瑞穂という御仏壇が、沈金という技法を使って描いているトキの絵が好評を得て、全国で第5位（新潟1位）に入ることができました」ということを書かせていただきましたが、実はその続きがありました。

どんな続きがあったかと言いますと、その沈金という技法でトキを描いた当社の職人（女性）が4月に結婚をいたしました！しかも、同じ部署の人間と！！

実は、昨年の後半に入ってから社員の結婚ラッシュが続いておりまして、私はご祝儀貧乏になっております…（汗）。今回の社員同士や社員と元社員、それから社員と別の方などいろいろな形の結婚式が続いておりまして、次は6月に控えております。

ちなみに、沈金という技法でトキを描いた当社の職人（女性）の結婚式は、4月4日（土）の大安だったのですが、この日はなんと人生初の結婚式のダブルヘッダーでした…（汗）。

まずお昼から新潟で結婚式がありました。そこで挨拶を終えてすぐに車に乗り込み、そこから山形に移動です…（汗）。昼食を取る間もありませんでしたので、結婚式のご馳走を想像しつつコンビニのおにぎりをほおぼりながら高速を抜けて山道をひたすら走り、山形市内の結婚式場に着いたのは結婚式開始5分前！（汗）。そして、名前を間違えないようにしっかり挨拶をして、やっとならびにご馳走にありつくことができました（笑）。

結婚式での挨拶のダブルヘッダーはきついものがありましたが、社員が結婚するというのは、とても喜ばしいことです。また、本人たちはこれからさらに頑張ろうと思うでしょうし、私は私で、給料を上げてあげないといけません。彼女らが幸せになる基盤として会社がちゃんとしてないといけないわけですから、社員が結婚をするたびに私はその責任を感じ、それが頑張る原動力になっております（笑）。



◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただき、どうも有り難うございました。さて、山形での結婚式で初めて見るものがありました。何かと言いますとデュエットです。しかも、親子ではなく新郎新婦のお父さん同士のデュエット。お父さんが一曲ずつ歌ったあと、3曲目にデュエットです。驚きつつもこれは仲良くなるだろなあ〜と、私は妙に納得してしまいました（笑）。吉田竹史

■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史